

2017年10月30日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2018年3月期 第2四半期連結決算
当期純利益は前年同期比17%増の1,660億円
～当期純利益は過去最高額を更新～

2018年3月期第2四半期(2017年4月1日～2017年9月30日)の米国会計基準連結決算において、営業収益は前年同期比24%増の15,178億円、税引前当期純利益は同15%増の2,526億円、当期純利益は同17%増の1,660億円となり、第2四半期累計期間の当期純利益として過去最高額を更新しました。

当第2四半期は、6つの事業部門のうち5部門で前年同期比増益となりました。海外事業部門の利益が伸長し、国内においても不動産事業部門やリテール事業部門が業績を牽引しました。また、ROEは中期的な目標値である11～12%を上回る13.0%になりました。

■ 主な経営指標の推移

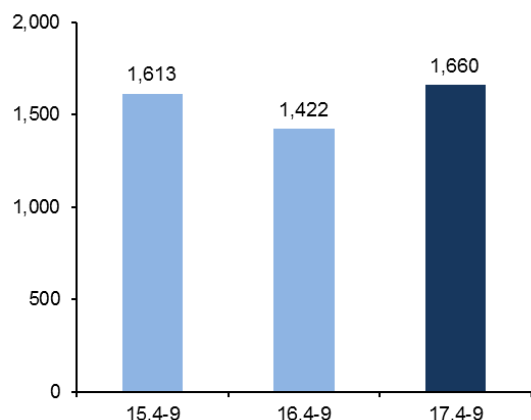
	2016.4-9	2017.4-9	増減率
営業収益	12,211 億円	15,178 億円	24%
税引前当期純利益	2,192 億円	2,526 億円	15%
当期純利益 ※	1,422 億円	1,660 億円	17%
株主資本当期純利益率 (ROE: 年換算) ※	12.2%	13.0%	—

	2017.3	2017.9	増減率
総資産	112,319 億円	114,260 億円	2%
セグメント資産	89,569 億円	91,162 億円	2%
株主資本 ※	25,077 億円	26,107 億円	4%
株主資本比率 ※	22.3%	22.8%	—

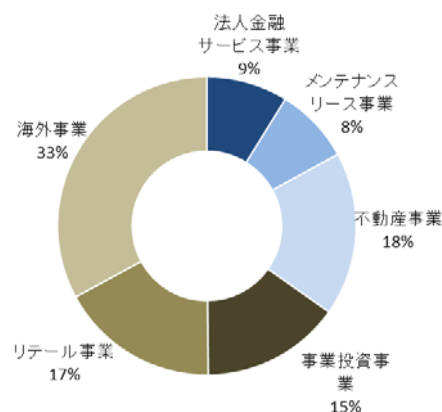
※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表に記載している「当社株主に帰属する四半期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE: 年換算)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』

(単位: 億円)



『当第2四半期のセグメント利益内訳』

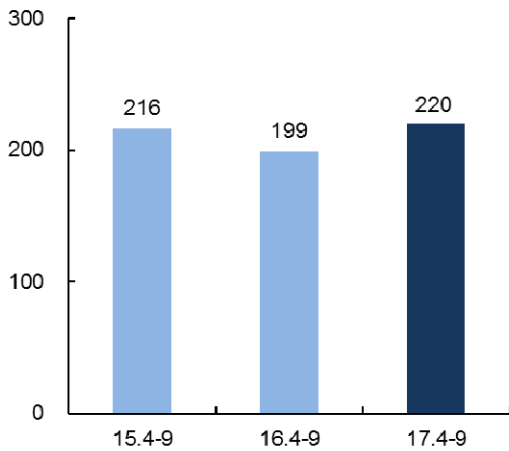


■ 各セグメントの業績概要（2017年4月1日～2017年9月30日）

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<セグメント利益> (単位：億円)

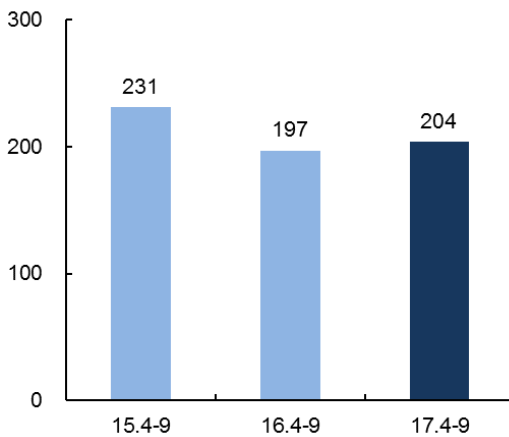


- ・ 営業貸付金の減少に伴い金融収益が低下したものの、生命保険販売手数料などのサービス収入が増加。
- ・ 業務ソフトの弥生(株)において、保守サポートなどのサービス収入が伸長。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 11%増の 220 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<セグメント利益> (単位：億円)

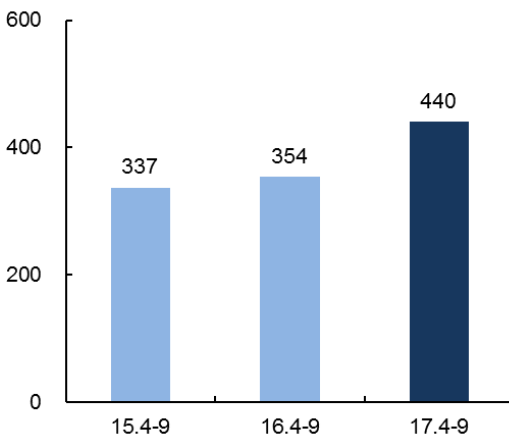


- ・ リースやレンタカーなどの自動車事業が堅調に拡大。
- ・ 前年同期と比較し、中古車売却益は減少。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 4%増の 204 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人 (REIT) の資産運用・管理、不動産投資顧問

<セグメント利益> (単位：億円)

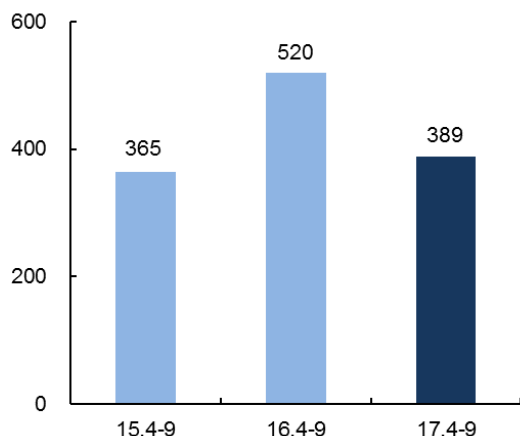


- ・ 活況な市況を捉え、不動産売却益が増加。
- ・ ホテル・旅館など施設運営事業からのサービス収入が増加。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 24%増の 440 億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション

<セグメント利益> (単位：億円)

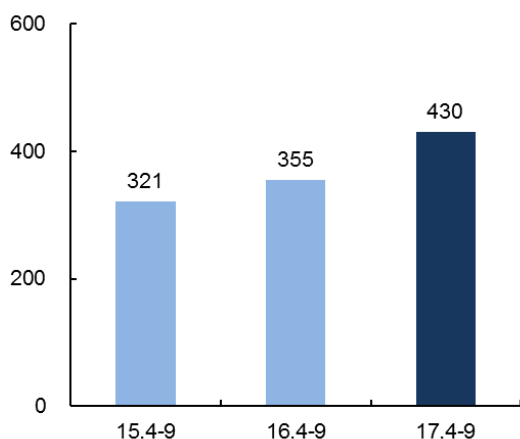


- メガソーラーなど環境エネルギー事業の拡大によるサービス収入の増加や、コンセッション事業からの利益が貢献。
- 前年同期は、投資先の株式売却益およびバーゲンパーチェス益を大きく計上。
- セグメント利益は、前年同期比 25%減の 389 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<セグメント利益> (単位：億円)

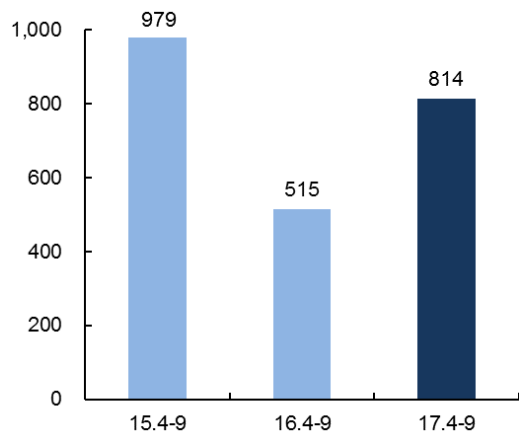


- 生命保険事業において、新規契約の増加に伴い生命保険料収入が伸長。
- 銀行事業は、住宅ローンなど営業貸付金の増加に伴い金融収益が増加。
- セグメント利益は、前年同期比 21%増の 430 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、航空機・船舶関連

<セグメント利益> (単位：億円)

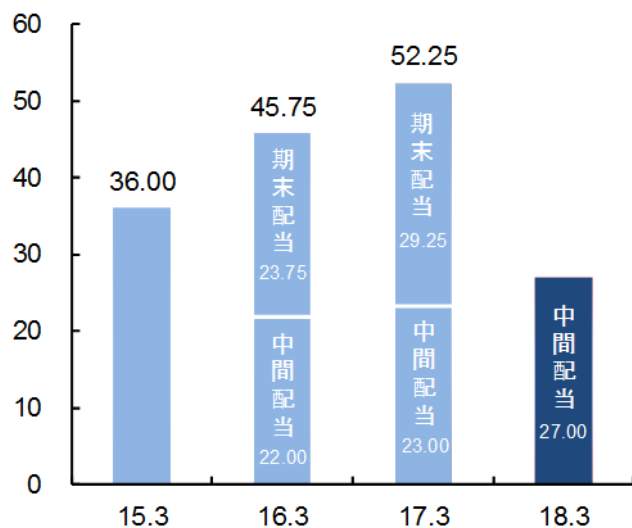


- 米州におけるアセットマネジメント事業や、ロベコの資産運用事業からの収益が増加。
- 航空機および船舶事業の資産増加に伴い、収益が増加。
- セグメント利益は、前年同期比 58%増の 814 億円を計上。

■ 当期の中間配当金および期末配当性向について

当期の1株当たり中間配当金は、27円とすることを本日開催の取締役会で決議しました。通期の1株当たり配当金につきましては、前期より配当性向を2%向上させ、27%を目安とします。配当の決定にあたっては、利益成長に向けた積極的な投資機会の獲得と配当との最適なバランスを重視します。

(単位：円)



詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 堀井・長谷川・松村 TEL : 03-3435-3167